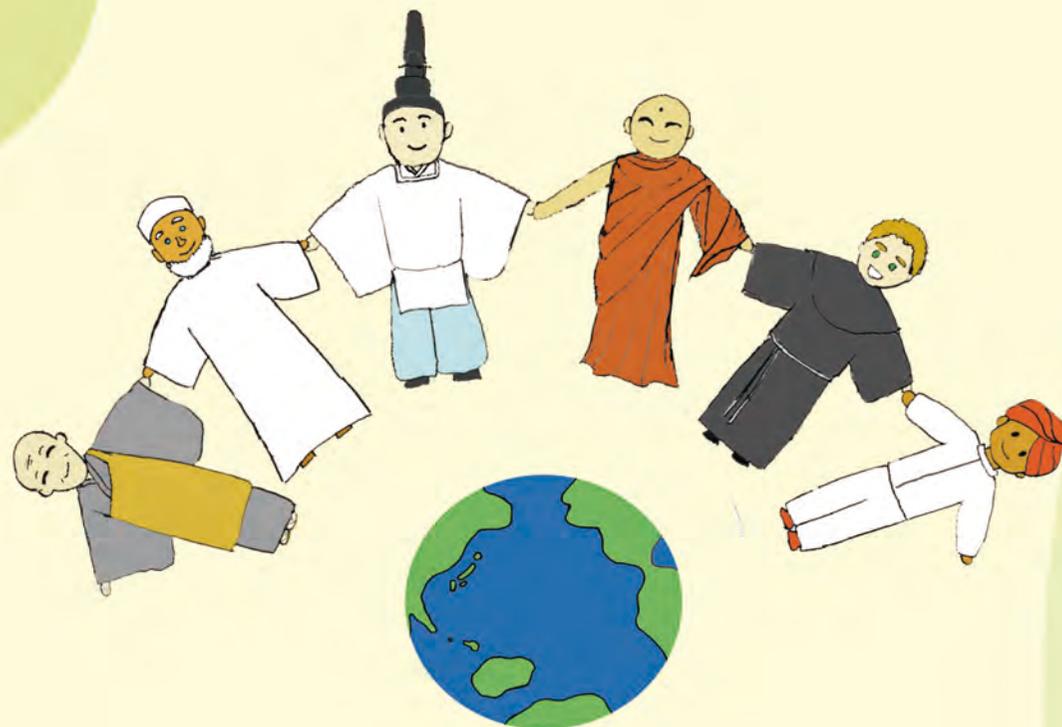


ばんきょうどうこん 万教同根



大本では、平成5（1993）年11月、宗教の違いを乗り越え、祈りを共にするため、第1回「世界宗教者の祈りとフォーラム」を綾部の聖地・梅松苑の神殿「長生殿」で行い、18カ国から50余りの諸宗教の代表者が集いました。（写真左）
平成14（2002）年には、京都市で第2回となる「祈りとフォーラム」を開催。現在も、「万教同根」の教えに基づき、世界平和のため宗文化活動を行っています。

祈りとフォーラム

大本では、すべての正しい宗教は、同じ一つの神さまにその根源があるとして、「万教同根」を説いています。
世界には、時代や地域に応じて、万を越える教えが生まれてきましたが、すべて同じ一つの神さまに根ざしているのです。



みろく博士

大本本部

綾部・梅松苑 綾部祭祀センター
〒623-0036
京都府綾部市本宮町1-1 梅松苑 / TEL 0773 (42) 0187

亀岡・天恩郷 亀岡宣教センター
〒621-8686
京都府亀岡市天恩郷 / TEL 0771 (22) 5561

東京本部 東京宣教センター
〒110-0008
東京都台東区池之端 2-1-44 / TEL 03 (3821) 3701

大本ホームページ <http://www.oomoto.or.jp/>



<連絡先>



さまざまな宗教

世界にはさまざまな宗教があります。キリスト教、イスラム教、仏教といった世界三大宗教から、ユダヤ教やヒンズー教、神道、その他、各地域に根ざした宗教があります。

それぞれの宗教の成立した時期は異なり、教えや祭儀の形式もいろいろで、一見すると、まったく違った宗教が世界に数多くあるかのように見えます。

神さまの捉え方や呼び方も、各宗教によってさまざまです。主（キリスト教）、アッラー（イスラム教）、ゼウス（ギリシャ神話）、ヤハウェ（ユダヤ教）、阿弥陀仏（仏教）、大天主太神（大本）などのように千差万別です。



世界の諸宗教と交流

大本では、「万教同根」の教えに基づき、世界平和のために、世界の諸宗教と共に祈りをささげ、交流を重ね、さまざまな活動を行っています。

このような他の宗教団体との交流は、今から100年ほど前の大正時代から始まり、交流団体は、世界のさまざまな地域に及びます。

こうした宗教の垣根を越えた交流を「宗際化」と呼んでいます。



エジプト・シナイ山で行われた合同礼拝（1984年）。世界の宗教者が手を取り、輪になって共に祈りをささげた

神も仏も一緒

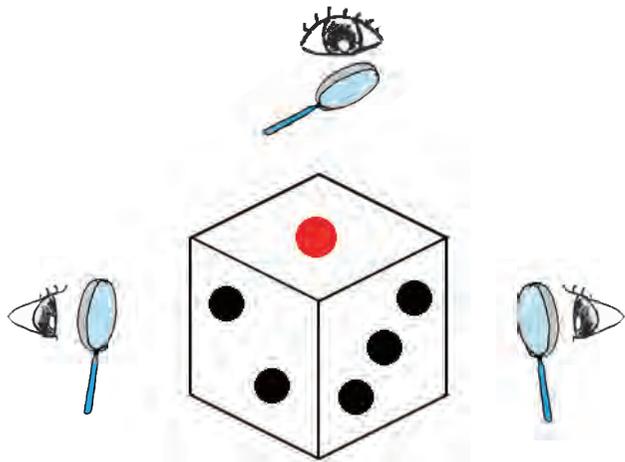
大本では、神さまであれ、仏さまであれ、アッラーであれ、民族や文化、環境などの違いから呼び方が異なっているだけで、その根源は同じだと教えられています。



同じサイコロを見ている

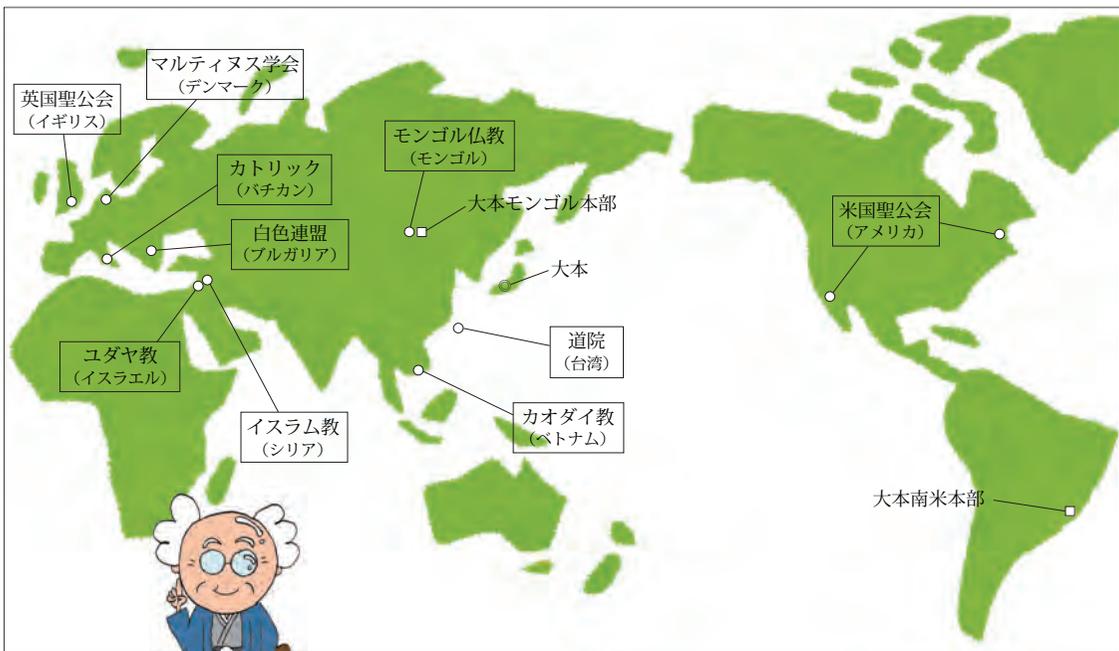
例えば、サイコロを思い浮かべてください。

サイコロは6つの面から成っています。見方によっては1が見え、別の方向からは2が見え、また別の方向からは3が見えます。しかし、すべて一つの同じサイコロを見ているのです。



上から見ると1を、左から見ると2を、右から見ると3を見ている。それぞれ違う数字を見ているつもりでも、同じ一つのサイコロを見えています。「万教同根」もこれと同じです。

大本が交流してきた主な世界の宗教



人によって違ったものを見ているようでも、実は同じものを見ているのです。

これと同様に、「神さまに祈っている」「いやいや、私はゼウスに祈っているんだ」「僕は仏さまに祈っているんだ」と、それぞれ別の対象に祈っているように思っているも、結局は、同じ存在に祈っているといえないでしょうか。

世界平和の鍵

宗教の違いを理由に、お互い争ってばかりでは、世界が平和になることはありません。

それぞれの宗教が「万教同根」の考えに立ち返り、お互いの違いを乗り越え、理解し、尊重し合うことが大切です。「万教同根」の考えは、世界平和の鍵といってもよいでしょう。

豆知識

聖なる冒険



昭和52（1977）年2月3日、米国聖公会（キリスト教）との共同礼拝式が、京都府綾部市の大本の聖地・梅松苑のみろく殿で実現しました。（写真右）
自分の宗教の礼拝式を他の宗教の神殿で行うことは、それまでの宗教の歴史からいっても、世界的に珍しいことでした。
共同礼拝式に参列した当時の有識者からは、「聖なる冒険」と評されました。